

第3章. セグメント別にみたサービス評価に関する調査

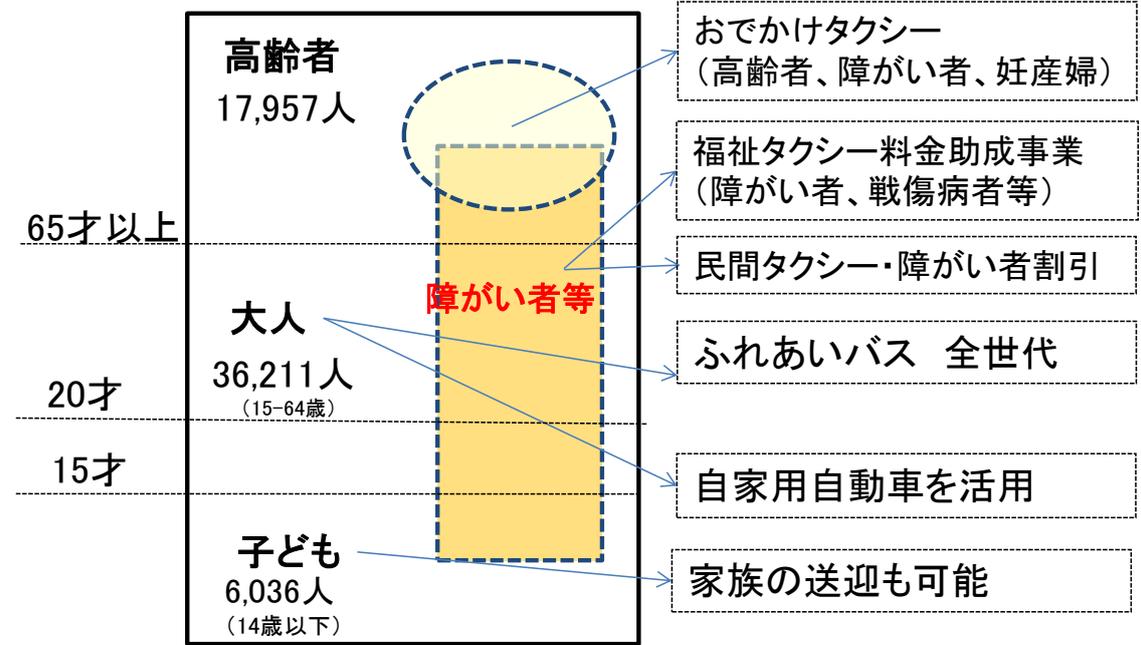
1. 利用対象者をセグメントした移動サービスの提供状況

津島市民には、民間交通事業者により、鉄道と路線バスが提供され、津島市により、ふれあいバス、福祉サービス事業（おでかけタクシー・福祉タクシー料金助成事業）の移動サービスが提供されている。

ふれあいバスは、8時～18時台の運行であることから、高齢者等を中心とした全世代向けのサービスであり、おでかけタクシーは、高齢者・障がい者・妊産婦向けのサービスとして提供されている事業と整理することができる。

津島市民においては、全世代に対する移動サービスとして、鉄道・路線バス・ふれあいバスが提供され、障がい者などの移動制約者に対しても福祉サービス事業が提供されていることから、サービス提供されていないセグメントは特にないものと思われる。

○津島市において提供されている移動サービス



総人口: 60,204人

全世代に、鉄道(名鉄・JR)・路線バス(津島線・岩塚線)が提供

※人口は令和5年10月1日時点

2. 「年齢世代」に着目した交通サービスの満足度

年齢世代別の公共交通サービスに対する満足度（不満度）については、平成31年2月に実施された市民意識調査結果により報告されている（下図）。

これにより、世代間の満足度・重要度を確認した。

「公共交通の利便性の向上」に関しては、全ての世代で、「魅力あるまちの形成」に次いで、満足度が低く（不満度が高く）、その中でも40～60歳代の不満度が高いことを把握できる。当該世代は、施策の重要度でも高い数値を示している。

表 4-2-1 年齢別「施策への満足度」(平均得点比較)

満足度	全体	18・19・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1－土地の有効活用と環境整備	-0.45	-0.15	-0.45	-0.48	-0.61	-0.52	-0.47
2－魅力あるまちの形成	-1.00	-0.72	-0.91	-1.04	-1.17	-1.15	-0.95
3－総合的な交通ネットワークの形成	-0.47	-0.02	-0.55	-0.49	-0.67	-0.53	-0.50
3－（１）－幹線道路の整備など	-0.34	-0.06	-0.22	-0.42	-0.39	-0.40	-0.43
3－（２）－公共交通の利便性の向上など	-0.57	-0.28	-0.58	-0.61	-0.78	-0.61	-0.53

表 4-2-3 年齢別「施策への重要度」(平均得点比較)

重要度	全体	18・19・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1－土地の有効活用と環境整備	0.72	0.66	0.69	0.79	0.88	0.72	0.63
2－魅力あるまちの形成	0.96	1.06	1.01	1.03	0.96	0.95	0.82
3－総合的な交通ネットワークの形成	0.85	0.90	0.90	0.89	1.03	0.85	0.60
3－（１）－幹線道路の整備など	0.86	0.85	0.89	0.93	0.92	0.86	0.74
3－（２）－公共交通の利便性の向上など	1.00	1.05	1.04	1.10	1.14	0.95	0.81

表 4-2-5 年齢別施策への満足度(ワースト10)

全体	18・19・20 歳代	30 歳代
① 2-魅力あるまちの形成(-1.00)	① 2-魅力あるまちの形成(-0.72)	① 2-魅力あるまちの形成(-0.91)
② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.57)	② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.28)	② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.58)
③ 4-安全な道路交通環境の形成(-0.48)	③ 4-安全な道路交通環境の形成(-0.23)	③ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.53)
④ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.47)	④ 34-自立と責任ある行政運営(-0.16)	④ 4-安全な道路交通環境の形成(-0.48)
⑤ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.45)	⑤ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.15)	⑤ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.45)
⑥ 9-良好な居住環境の実現(-0.35)	⑥ 9-良好な居住環境の実現(-0.15)	⑥ 20-安心できる医療体制の充実(-0.38)
⑦ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.34)	⑦ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.12)	⑦ 9-良好な居住環境の実現(-0.27)
⑧ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.32)	⑧ 20-安心できる医療体制の充実(-0.09)	⑧ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.22)
⑨ 34-自立と責任ある行政運営(-0.29)	⑨ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.06)	⑨ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.20)
⑩ 20-安心できる医療体制の充実(-0.26)	⑩ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.02)	⑩ 34-自立と責任ある行政運営(-0.17)
40 歳代	50 歳代	60 歳代
① 2-魅力あるまちの形成(-1.04)	① 2-魅力あるまちの形成(-1.17)	① 2-魅力あるまちの形成(-1.15)
② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.61)	② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.78)	② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.61)
③ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.49)	③ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.67)	③ 4-安全な道路交通環境の形成(-0.58)
④ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.48)	④ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.61)	④ 9-良好な居住環境の実現(-0.58)
⑤ 4-安全な道路交通環境の形成(-0.43)	⑤ 4-安全な道路交通環境の形成(-0.49)	⑤ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.53)
⑥ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.42)	⑥ 20-安心できる医療体制の充実(-0.49)	⑥ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.52)
⑦ 34-自立と責任ある行政運営(-0.34)	⑦ 34-自立と責任ある行政運営(-0.41)	⑦ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.51)
⑧ 20-安心できる医療体制の充実(-0.34)	⑧ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.39)	⑧ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.40)
⑨ 9-良好な居住環境の実現(-0.33)	⑨ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.36)	⑨ 34-自立と責任ある行政運営(-0.37)
⑩ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.25)	⑩ 9-良好な居住環境の実現(-0.28)	⑩ 20-安心できる医療体制の充実(-0.25)
70 歳代		
① 2-魅力あるまちの形成(-0.95)		
② 4-安全な道路交通環境の形成(-0.59)		
③ 3-(2)公共交通の利便性の向上等(-0.53)		
④ 3-総合的な交通ネットワーク(-0.50)		
⑤ 1-土地の有効活用と環境整備(-0.47)		
⑥ 3-(1)-幹線道路の整備など(-0.43)		
⑦ 9-良好な居住環境の実現(-0.41)		
⑧ 15-多様で安定した雇用機会の提供(-0.36)		
⑨ 34-自立と責任ある行政運営(-0.23)		
⑩ 20-安心できる医療体制の充実(-0.08)		

表 4-2-7 年齢別施策への重要度(ベスト10)

全体	18・19・20 歳代	30 歳代
① 20-安心できる医療体制の充実(1.13)	① 20-安心できる医療体制の充実(1.17)	① 4-安全な道路交通環境の形成(1.12)
② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(1.00)	② 2-魅力あるまちの形成(1.06)	② 20-安心できる医療体制の充実(1.11)
③ 10-災害に強いまちの形成(0.98)	③ 3-(2)公共交通の利便性の向上等(1.05)	③ 10-災害に強いまちの形成(1.10)
④ 7-安全でおいしい水の安定供給(0.97)	④ 4-安全な道路交通環境の形成(1.02)	④ 3-(2)公共交通の利便性の向上等(1.04)
⑤ 2-魅力あるまちの形成(0.96)	⑤ 10-災害に強いまちの形成(0.98)	⑤ 7-安全でおいしい水の安定供給(1.03)
⑥ 12-消防・救急体制の充実(0.94)	⑥ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.91)	⑥ 2-魅力あるまちの形成(1.01)
⑦ 4-安全な道路交通環境の形成(0.93)	⑦ 7-安全でおいしい水の安定供給(0.87)	⑦ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.91)
⑧ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.92)	⑧ 12-消防・救急体制の充実(0.87)	⑧ 12-消防・救急体制の充実(0.90)
⑨ 11-治水機能の充実(0.87)	⑨ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.85)	⑨ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.89)
⑩ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.86)	⑩ 11-治水機能の充実(0.74)	⑩ 11-治水機能の充実(0.80)
40 歳代	50 歳代	60 歳代
① 20-安心できる医療体制の充実(1.12)	① 20-安心できる医療体制の充実(1.15)	① 20-安心できる医療体制の充実(1.16)
② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(1.10)	② 3-(2)公共交通の利便性の向上等(1.14)	② 7-安全でおいしい水の安定供給(1.07)
③ 2-魅力あるまちの形成(1.03)	③ 10-災害に強いまちの形成(1.02)	③ 10-災害に強いまちの形成(0.98)
④ 10-災害に強いまちの形成(1.00)	④ 7-安全でおいしい水の安定供給(1.00)	④ 3-(2)公共交通の利便性の向上等(0.95)
⑤ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.96)	⑤ 2-魅力あるまちの形成(0.96)	⑤ 2-魅力あるまちの形成(0.95)
⑥ 7-安全でおいしい水の安定供給(0.94)	⑥ 12-消防・救急体制の充実(0.96)	⑥ 4-安全な道路交通環境の形成(0.94)
⑦ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.93)	⑦ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.95)	⑦ 11-治水機能の充実(0.92)
⑧ 12-消防・救急体制の充実(0.92)	⑧ 4-安全な道路交通環境の形成(0.92)	⑧ 12-消防・救急体制の充実(0.91)
⑨ 4-安全な道路交通環境の形成(0.87)	⑨ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.92)	⑨ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.90)
⑩ 11-治水機能の充実(0.79)	⑩ 11-治水機能の充実(0.89)	⑩ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.86)
70 歳代		
① 20-安心できる医療体制の充実(1.10)		
② 12-消防・救急体制の充実(1.03)		
③ 11-治水機能の充実(1.01)		
④ 7-安全でおいしい水の安定供給(0.92)		
⑤ 13-治安のよい安全な地域づくり(0.88)		
⑥ 10-災害に強いまちの形成(0.86)		
⑦ 2-魅力あるまちの形成(0.82)		
⑧ 3-(2)公共交通の利便性の向上等(0.81)		
⑨ 4-安全な道路交通環境の形成(0.80)		
⑩ 3-(1)-幹線道路の整備など(0.74)		

3. 移動制約者に対するヒアリング調査

(1) 調査対象と実施方法：障がい者などの主要団体に対するヒアリング調査

市民意識調査結果からでは整理できない障がい者などの移動制約者の生の声を確認するため、下記に示す津島市巡回バス検討委員会に参加されたメンバー等を対象に、ヒアリング調査を実施した。

対象	障がい者	津島市身体障害者福祉会
	高齢者	津島市老人クラブ連合会
ヒアリング項目	・交通サービスが提供できているか ・サービスに対する評価、改善して欲しいことなどのニーズ実態 等	

(2) 障がい者団体：津島市身体障害者福祉会へのヒアリング調査結果

津島市身体障害者福祉会の会長に令和5年10月18日にヒアリングを実施した。

○津島市身体障害者福祉会メンバーの公共交通の利用例

- ・彩雲館で送迎バスが運行されているため、送迎バスを利用する。
- ・津島市身体障害者福祉会メンバーの中に、自宅→名鉄路線バス津島線・津島駅乗り換え→ふれあいバス・総合保健福祉センター停留所まで利用する人がいる。
- ・名鉄路線バスとふれあいバスを乗り継ぎ、市民病院等への通院利用も聞く。
- ・彩雲館の利用後、ふれあいバスの出発時間（15:07）が少し早く、遅らせてほしいという意見を聞いた。
- ・車いすを利用する障がい者（男性）の場合は、公共交通を利用しない。福祉タクシー料金助成利用券も持っていないと聞いている。近居の家族が運転する自動車で移動すると聞いている。

○公共交通サービスに対する意見

- ・彩雲館のメンバーからは、ふれあいバスの出発時間の件以外は、特に、見直しについての意見は聞いていない。
- ・おでかけタクシーについての意見は特に聞いていない。
- ・福祉タクシー料金助成利用券については、年間24枚の制限があるため、4月に配付されても、10月頃に使い切ってしまう人がいる。
- ・彩雲館のメンバーで、料金助成利用券を使い切ってしまった人が、外出控えが起こり、彩雲館に来なくなっているケースも見られる。

○公共交通サービスに対する発言機会

- ・津島市巡回バス検討委員会設置時は、市からの要請で委員として参加したことから、公共交通に対する発言機会はあった。
- ・現状は、津島市巡回バス検討委員会は解散したため、特に発言する機会はない。
- ・津島市身体障害者福祉会のメンバーから特にこうしてほしいという意見は聞いていない。

- ・自動車が運転できなくなる将来の移動は不安だと感じる。
- ・ふれあいバスの見直しの評価、将来的な検討のため再度津島市巡回バス検討委員会を設置する場合、参加することはかまわない。
- ・福祉部局から津島市身体障害者福祉会に対して、移動サービスに関する意見聴取をされたことはない。

○現状利用できるか？

- ・現状自動車運転が中心の会長に、「ふれあいバス乗り方ガイド」の存在と、実際に利用できるか確認した。「ふれあいバス乗り方ガイド」の存在を知らず、実際の利用も誰かからの説明がなければ利用できないと回答された。
- ・「乗り方教室」の必要性を確認したところ、あるとよいとの意見を頂戴した。
- ・彩雲館のメンバーと一緒に乗ってみたいとの発言を頂戴した。

(3) 高齢者団体：津島市老人クラブ連合会へのヒアリング調査結果

津島市老人クラブ連合会の会長始め4名に、令和5年10月26日にヒアリングを実施した。

○メンバーの移動手段・公共交通の利用状況

- ・83歳。自家用車利用。ふれあいバスの利用なし。おでかけタクシーの登録あり。健康維持できている間は、運転する。
- ・70歳台。青塚地区在住。自家用車利用。ふれあいバスの利用なし。おでかけタクシーの登録あり。健康維持できている間は、運転する。
- ・70歳台。神守地区在住。自家用車利用。ふれあいバスの利用なし。おでかけタクシーの登録なし。家族から運転免許証を返納したらどうかと言われるが、健康維持できている間は、運転する。
- ・80歳台。運転免許証返納済み。自転車利用。ふれあいバスの利用経験あり。おでかけタクシーを知らない。

○公共交通の利用経験

- ・おでかけタクシーを利用しようと思い、タクシー会社に電話をしたが、配車が困難だったため、利用に至らなかった。時間を変えれば車両を回せるなどの説明もなく、適切な説明もない回答で、利用をあきらめた。
- ・津島市立図書館からヨシヅヤに行く際にふれあいバスを利用した。午前便を利用したが、帰りの午後の便がなく、うまく使えなかった。そのあと、数度利用を試みたが、使えていない。自転車で移動している。

○公共交通に対する意見：ふれあいバスの乗り継ぎ

- ・ふれあいバスの乗り継ぎは、津島駅だけと理解している。乗り継ぎできる停留所が少ないため不便だと感じる。

- ・ふれあいバスの乗り継ぎは、料金が必要なのか。→津島駅での乗り継ぎが基本形となっており、津島駅での乗り継ぎ時に乗り継ぎ券が発行されるため、乗り継ぎ便は無料。→乗り継ぎ券が発行されることを初めて聞いた。

○ふれあいバスに対する希望

- ・本数が少ないと思う。乗り継ぎしてまで使わない。
- ・大きなバスでなくてよい。ワゴンタイプの小さな車両でよい。時間を調べて利用しようとは思っていない。昔は曜日運行だったと記憶しているが、時刻表を見て現在は毎日運行していることを知った。
- ・青塚駅周辺では、毎朝、通勤や通学のための送迎の車が多い。その時間にふれあいバスが利用できれば便利だと思うが、本数が増えれば費用もかかる。経済性があるのかわからない。

○おでかけタクシーの登録・利用方法について

- ・おでかけタクシーの登録の仕方や利用方法を知らない。
- ・津島市老人クラブ連合会の会合で、おでかけタクシーの登録の出張対応をしてもらえるとよい。
- ・現状の自宅と目的地だけでなく、自由にどこでも行けるタクシーの使い方はできないか。多くの停留所を設置し、その停留所を結ぶ使い方ができるとよい。

○バス車両の更新・新しい車両について

- ・バス車両の更新が必要だと聞いた。→令和6年に現在のバス車両の使用開始から10年目を迎える。最近トラブルが増えてきた。
- ・更新が必要であれば、個人の自家用車を使って送迎するという方法は考えられないか。名鉄バスに発注するのでは費用が高くなる。今後、バス車両を小さくして、バス会社ではなく、他の民間に発注するなど考えられるのではないか。
- ・同じ車両ではなく小型の車両にするとか、古くなるバスを予備車にして、イベント送迎・貸し切り利用するなどの車両の活用・工夫もできるのではないか。

○ふれあいバスの改善案・ルート設計など

- ・両回り運行にならないか。行きはよいが、帰りは不便。
- ・神守地区は、西の津島駅より東の名古屋方面への移動が多い。ふれあいバスで津島駅に向かうより、名鉄バスで東の名古屋方面に向かって使うと思う。ふれあいバスでなら、名鉄の津島駅より、木田駅に接続してほしい。
- ・百町など津島市の南部エリアであれば、蟹江駅への接続を希望するのではないか。→おでかけタクシーでは、JR蟹江駅へ行くことができる。

○病院利用について

- ・おでかけタクシーを使って、津島市民病院を利用する場合を考えると、行きはよいが、帰りの利用はできるのか。何時に診察が終わるかわからない。予め予約ができない。→津島

市民病院で待っている車両や登録事業者に電話して回送してもらえれば、帰りも使えると思う。

- ・津島市民病院の利用は、ふれあいバスでなら 100 円、おでかけタクシーだと半額の負担。おでかけタクシーも 100 円にならないか。→ふれあいバスは巡回かつ本数が制限される代わりに安く、タクシーは便利な分だけ半額負担。
- ・海南病院まで使えないか。隣の自治体のコミュニティバスを乗り継ぎ利用する人を聞くが、行きはよくても帰りも乗り継ぎできるかわからない。

○ふれあいバスの取り組み

- ・ふれあいバスが今どこを運行しているのかわからないため使いづらい。→バスの運行情報を発信している。スマートフォンや市の HP より運行情報を確認できる。→そうした運行管理・運行情報を発信していることも知らなかった。周知が必要。
- ・ほかにも便利な情報があるのではないか。→manaca（マナカ）等の IC カードが利用できる。
- ・走行ルートで手を上げたら停車し、乗車することはできないか。→通行量の多い道路でバスを急停車したら、後続車両が危ない。現状は、停留所以外の停車は行われていない。
- ・市：運転免許証の返納者には、ふれあいバスの 10 回分の無料券を配布している。→それだけでは運転免許証の返納は難しい。

○情報発信・PR

- ・市民のふれあいバスやタクシーに対する認識が低いと思う。広報には記事を出していると思うが、津島市老人クラブ連合会の会報（いきがい新聞）に、定期的に情報を取り上げるなど、移動サービスに関する周知活動をもっと実施すべき。

○おでかけタクシーの改善案

- ・おでかけタクシーは、自宅から目的地だけとなっているが、その他の立ち寄り利用ができないか。津島市老人クラブ連合会のイベントで、乗り合わせ利用をしたくても、出発者が途中の友人を迎えに行きながら、目的地へ行くことは現状の制度ではできない。停留所を増やして、その停留所間を移動できるようにしてほしい。
- ・津島市老人クラブ連合会のイベントなどで集まった後、みんなで喫茶店に行こうという話になるが、自宅以外の利用ができないので、帰りの立ち寄りもできない。
- ・おでかけタクシーは福祉部局の事業だが、福祉部局が津島市老人クラブ連合会に対して移動サービスに関する聞き取りがされたことがないかを伺うと、意見を聞かれたことがないとの回答だった。

○移動サービスに対する意見

- ・住民の利用先としては、駅、ヨシヅヤ、市民病院ぐらい。ヨシヅヤを利用する場合、大きな荷物になるため、ふれあいバスの利用は難しい。
- ・名鉄バス津島営業所（バスセンター）に自動車を置かせてもらって、大坪バス停留所から名古屋に行ける。→以前、停留所を設置していたことがあるが、利用者が少なく廃止した

経緯がある。

- ・観光利用について、藤まつり・天王まつりの時などに、シャトルバスがあるとよい。

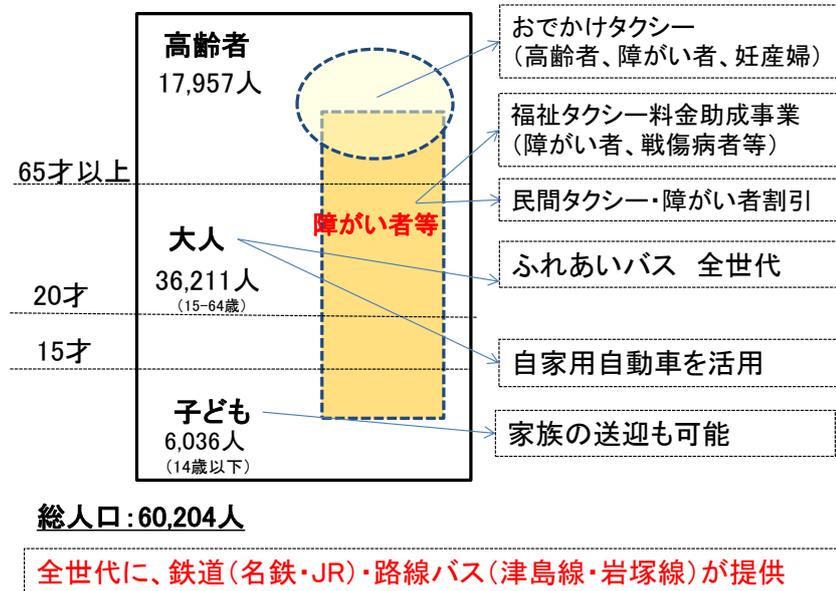
○ボランティア輸送の可能性について

- ・津島市老人クラブ連合会でイベントを実施している。現状は、会員の数名がボランティアで、個人の車を使って他の会員の送迎を行い、イベントに来てもらっている。送迎してもらえる仕組みがあるとよい。→自家用有償運送という方法が使えるのではないか。
- ・幼稚園やデイサービスセンターにはバス車両をもっているところがある。こうした車両が昼間遊んでいる。こうしたバス車両の利用ができないか。→運転手の確保が問題。津島市老人クラブ連合会の会員で運転手の担い手を確保できることは可能か？→津島市老人クラブ連合会で確認すれば担い手はいると思う。

4. セグメント別にみたサービス評価に関する調査のとりまとめ

(1) 利用対象者をセグメントした移動サービスの提供状況について

津島市民においては、全世代に対する移動サービスとして、鉄道・路線バス・ふれあいバスが提供され、障がい者などの移動制約者に対しても福祉サービス事業が提供されていることから、サービス提供されていないセグメントは特にないものと思われる。



※人口は令和5年10月1日時点

(2) 「年齢世代」に着目した交通サービスの満足度について

年齢世代別の公共交通サービスに対する満足度(不満度)については、平成31年2月に実施された市民意識調査結果により報告されている(下図)。

「公共交通の利便性の向上」に関しては、全ての世代で、「魅力あるまちの形成」に次いで、満足度が低く(不満度が高く)、その中でも40~60歳代の不満度が高いことを把握できる。当該世代は、施策の重要度でも高い数値を示している。

表 4-2-1 年齢別「施策への満足度」(平均得点比較)

満足度	全体	18・19・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1-土地の有効活用と環境整備	-0.45	-0.15	-0.45	-0.48	-0.61	-0.52	-0.47
2-魅力あるまちの形成	-1.00	-0.72	-0.91	-1.04	-1.17	-1.15	-0.95
3-総合的な交通ネットワークの形成	-0.47	-0.02	-0.55	-0.49	-0.67	-0.53	-0.50
3-(1)-幹線道路の整備など	-0.34	-0.06	-0.22	-0.42	-0.39	-0.40	-0.43
3-(2)-公共交通の利便性の向上など	-0.57	-0.28	-0.58	-0.61	-0.78	-0.61	-0.53

(3) 移動制約者に対するヒアリング調査について

市民意識調査結果からでは整理できない障がい者などの移動制約者の生の声を確認するため、ヒアリング調査を実施した。

① 障がい者団体の主な意見

○公共交通サービスに対する意見

- ・彩雲館のメンバーからは、ふれあいバスの出発時間の件以外は、特に、見直しについての意見は聞いていない。
- ・おでかけタクシーについての意見は特に聞いていない。
- ・彩雲館のメンバーで、福祉タクシー料金助成利用券を使い切ってしまった人が、外出控えが起こり、彩雲館に来なくなっているケースも見られる。

○公共交通サービスに対する発言機会

- ・津島市巡回バス検討委員会設置時は、市からの要請で委員参加したことから、公共交通に対する発言機会はあった。
- ・津島市身体障害者福祉会のメンバーから特にこうしてほしいという意見は聞いていない。
- ・福祉部局から津島市身体障害者福祉会に対して、移動サービスに関する意見聴取はされたことはない。

○現状利用できるか？

- ・現状自動車運転が中心の会長に、「ふれあいバス乗り方ガイド」の存在と、実際に利用できるか確認した。「ふれあいバス乗り方ガイド」の存在を知らず、実際の利用も誰かからの説明がなければ利用できないと回答された。
- ・「乗り方教室」の必要性を確認したところ、あるとよいとの意見を頂戴した。

② 高齢者団体の主な意見

○現状の移動手段・自家用車からの転換

- ・健康維持できている間は、自家用車を運転する。運転免許証は返納しない。ふれあいバスを利用していない。
- ・ふれあいバスは本数が少ない。乗り継ぎしてまで使わない。時間を調べて利用しようとは思わないとの回答があり、意識転換がなければ、自家用車からの転換は難しい。

○ふれあいバスの改善案・車両の更新

- ・本数が少ないと思う。乗り継ぎしてまで使わない。
- ・大きなバスでなくてよい。ワゴンタイプの小さな車両でよい。
- ・両回り運行にならないか。行きはよいが帰りは不便。
- ・神守地区は西の津島駅よりも東の名古屋方面への移動が多いため、名古屋方面か木田駅に接続してほしい。
- ・津島市の南部エリアであれば、蟹江駅への接続を希望されるのではないかと。

○ふれあいバスの取り組みとPR

- ・ふれあいバスの運行情報を確認できる仕組みを知らなかった。

- ・津島駅での乗り継ぎ券の発行、manaca（manaカ）等の IC カードが利用できるなどの対応は知られていない。
- ・市民の認識が低いと思う。津島市老人クラブ連合会の会報に取り上げるなど、周知活動をもっと実施すべき。

○おでかけタクシーの改善

- ・おでかけタクシーがあるのを知らない。登録が必要というのも知られていなかった。津島市老人クラブ連合会の会合で、おでかけタクシーの登録の出張対応をしてもらえるとよい。
- ・自宅と目的地だけでなく、自由にどこでも行ける使い方はできないか。
- ・津島市老人クラブ連合会のイベントで、乗り合わせ利用をしたくても、現状の制度では複数の乗り合わせができない。
- ・多くの停留所を設置し、その停留所を結ぶ使い方ができるとよい。